

樹木だより

月形のクヌギ



昨秋、空知の月形町にあるスギ林を見学に行った。この林は明治23年に樺戸集治監の囚人らによって植栽されたもので、現在では学術参考林に指定されている。その中に直径43cm、樹高12mにも達する大きなクヌギがあるのを見つけた。これはスギ、アカマツ、カラマツなどと一緒に植えられたもので、年々本数が減って今では5本ほどになってしまったとのことである。

葉はクリに似て先が鋭く尖り、縁には波状の大きな鋸歯がある。ドングリ(堅果)は球形で、径は2~2.5cmである。その皿(殻斗)はおわ

ん形で、外側にはそり返ったりん片が密生している。分布の北限は岩手、秋田両県であるため北海道ではなじみのうすい樹木であるが、この材から良質の木炭が得られるほか、シイタケの原木としても適している。

(自然保護科 嘉戸昭夫)